

## 施策評価調書(29年度実績)

施策コード - 8 - (1)

政策体系	施策名	未来を担うNPO(NPO法人・ボランティア団体・地域コミュニティ団体等)の育成と協働の推進	所管部局名	生活環境部	長期総合計画頁	73
	政策名	多様な県民活動の推進	関係部局名	生活環境部、土木建築部		

### 【 . 主な取り組み】

取組			
取組項目	NPO・ボランティアの育成・活動支援	協働に向けた支え合いの仕組みづくり	NPO活動と協働の県民理解・参加の促進

### 【 . 目標指標】

指 標	関連する 取組	基準値		29年度			31年度	36年度	目標達成度(%)					
		年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	目標値	25	50	75	100	125	
県・市町村との協働件数(件)		H26	942	1,017	1,190	117.0%	1,067	1,192						

### 【 . 指標による評価】

評価	理 由 等	平均評価
達成	NPO現場体験研修を通じて県・市町村職員がNPOに対する理解と知識を深め、各部局主管課長で構成する「協働推進庁内連絡会議」や各部局・振興局に配置した協働推進員を通じて、協働の推進を図ったことにより、目標値を達成した。	達成

【 . 指標以外の観点からの評価】

取組	指標以外の観点からの評価
	・おおいたボランティア・NPOセンターでの窓口相談(429件)や、運営アドバイザーの派遣(44回)、出張個別相談会(3ヶ所)において個々の団体の悩みを解決するとともに、基礎講座やセミナーを開催(9回)したことで、NPOの育成、活動支援ができた。
	・NPOと行政、企業、学校等の多様な主体との協働により、地域課題の解決に継続的に取り組むモデルづくりが進んだ。 ・NPO向けの県・市町村・企業等の事業や助成金プログラムを紹介する合同説明会を実施することで、NPOと企業等との相互理解・マッチングの機会を提供できた。
	・地域を担うNPOの協働モデルを創出する取組を通じて、地域課題の解決に取り組むNPO活動に対する理解が進み、県民の参加が促進された。 ・「おおいたNPO情報バンク おんぼ」でNPOに関する情報発信を行うことで、県民のNPO活動に対する理解・参加が進んだ。

【 . 施策を構成する主要事業】

取組	事業名(29年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	30年度の方向性	
	クリーンロード支援事業	18,000	A	継続・見直し	229
	災害ボランティアセンター運営支援事業	16,884	A	継続・見直し	113
	地域を担うNPO協働モデル創出事業	34,816	A	継続・見直し	114

【 . 施策に対する意見・提言】

<p>大分県協働推進会議(H29.10)</p> <p>・協働に関する個別のNPOの困りごとについては、おおいたボランティア・NPOセンターが適切に対応するのはもちろんだが、NPO自身が他のNPOに相談するといった自助努力を行うことも必要である。</p> <p>・市町村によってNPO支援・対応に温度差があるため、NPO間で先行事例・情報を共有することが大切である。</p>	
---	--

【 . 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<p>・NPOと行政、企業、学校等の多様な主体との協働により、地域課題の解決に継続的に取り組むモデルづくりを引き続き実施するとともに、モデルの成果を報告する場を設け、ノウハウの共有を図る。</p> <p>・講座やセミナー等で参加者の情報交換会を設け、事業や活動について相互理解を深めることで、協働・連携を進める。</p> <p>・県振興局単位でNPOを対象に事務手続きや運営、法人設立等の出張個別相談会を実施する。</p> <p>・NPOがおおいたボランティア・NPOセンター等のサポートを受けながら新たな活動や既存活動の深化に挑戦し、ステップアップする取組を実施する。</p>